

記入例

(様式2)

インキュベーション施設 (拠点) 事業概要

2025年 月 日

(機関名)

記載事項

1. 基本情報、インキュベーションの基本コンセプト
2. 支援体制
3. 現在までの支援実績
4. 現状の課題と今後の戦略
5. 支援を要請する理由
6. インキュベーション施設（拠点）事業計画（その1）
〈数年後に実現したい姿・目標〉
7. インキュベーション施設（拠点）事業計画（その2）
〈ソフト支援力強化・自立化計画〉

1. 基本情報

活用機関名	
インキュベーション施設名	
設立目的・ビジョン	

1. (2) インキュベーションの基本コンセプト

(「大学連携型」記入例) フォーマット自由

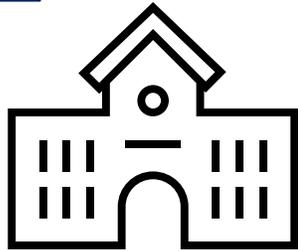
[目標] 研究成果の社会実装加速とベンチャー起業家の育成

社会課題

● 解決したい社会課題

● 過去の共同研究実績

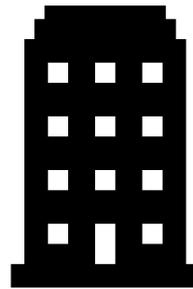
大学



- 大学、学部、学科の特徴
- 社会実装が期待できる知財
- 産学連携の組織体



教授・学生



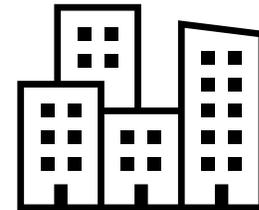
インキュベーション施設

- 支援人材の有無
- 専門性・支援スキル
- 支援経験等



研究者
開発者

企業



- 産業分野等

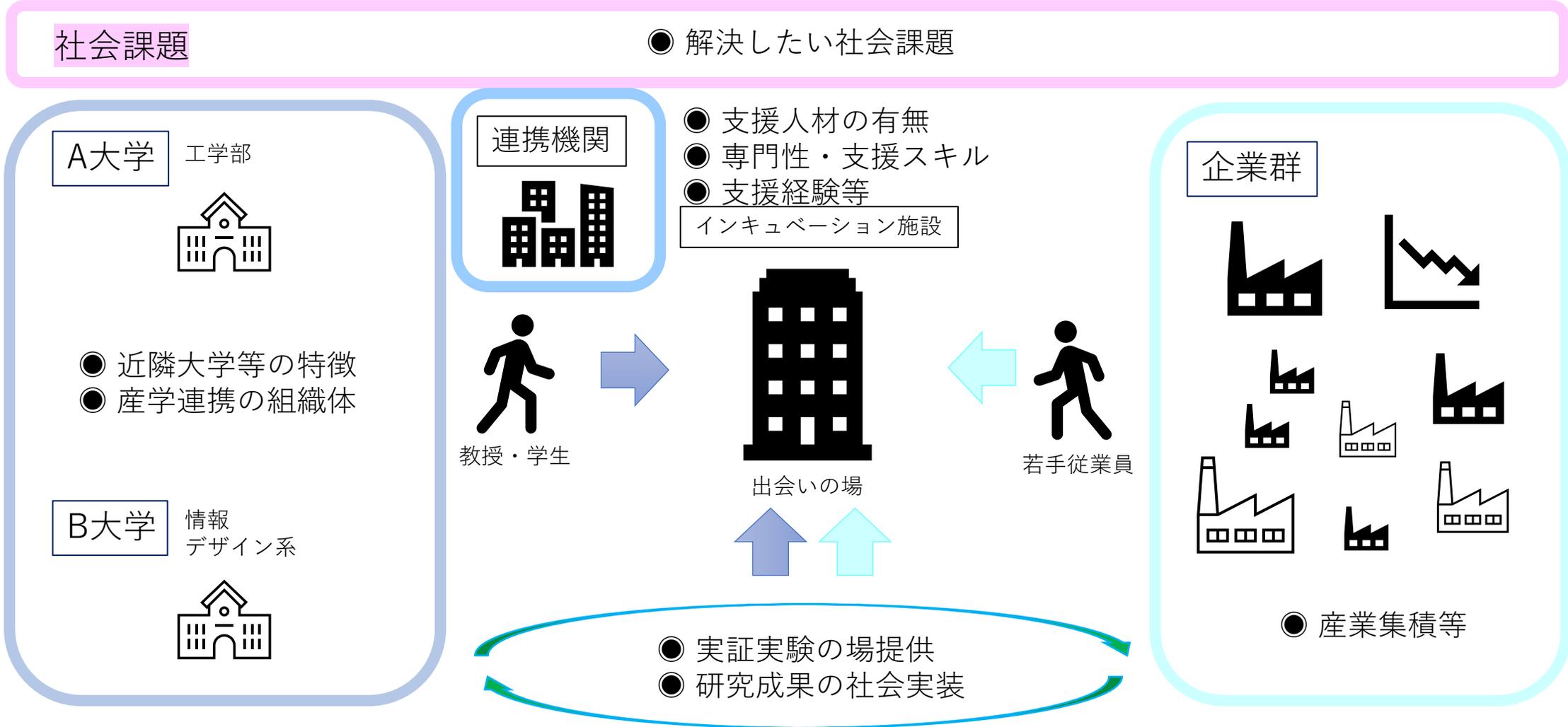
連携機関



1. (2) インキュベーションの基本コンセプト

(「自治体型」記入例) フォーマット自由

- [目標] ① 域内企業の基盤技術高度化と産業集積の高度化
- ② 若手起業家の育成と新産業創出

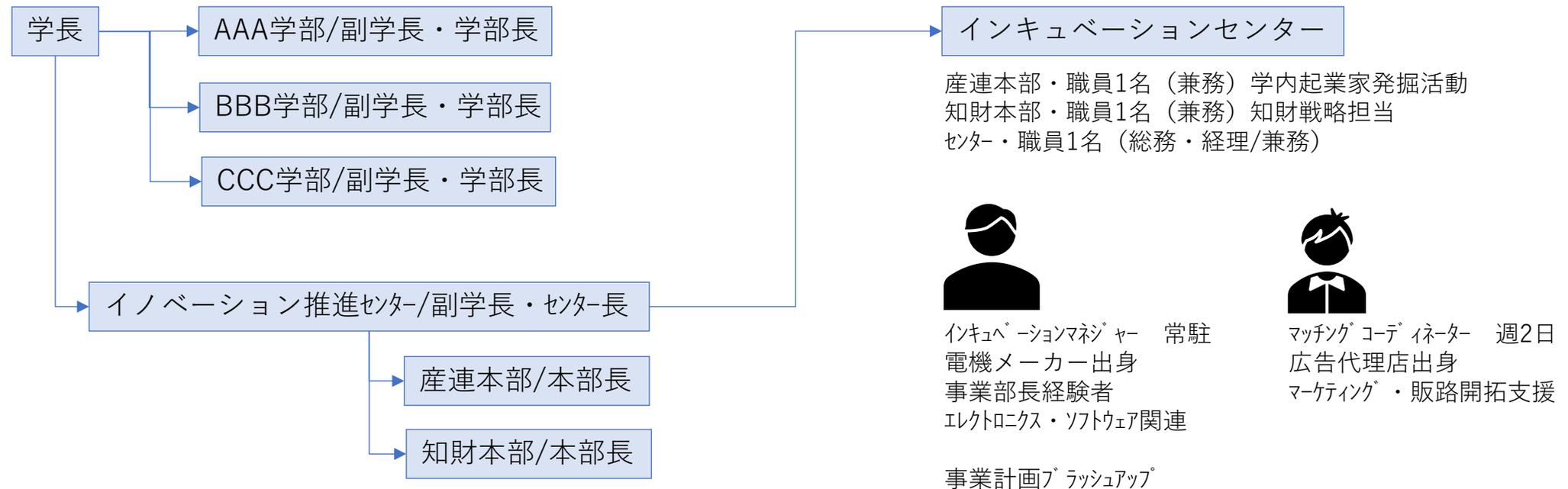


2. 支援体制

フォーマット自由

記入例

- 1) 大学・研究機関、自治体・指定法人等の職員の間与について
- 2) 企業支援専門家（インキュベーションマネージャー/コーディネーター等）
人数、経歴・経験、専門分野・支援スキル等、支援日数について



3. 現在までの支援実績

フォーマット自由

4. 現状の課題と今後の戦略 フォーマット自由

記入例1 SWOT分析をして記載

		外部環境分析	
		Opportunities(機会)	Threats(脅威)
内部要因分析	Strengths(強み)	S×O(強みを生かす戦略)	S×T(脅威を無力化する戦略)
	Weaknesses(弱み)	W×O(弱みを克服する戦略)	W×T(基本戦略の見直し)

Strengths(強み)

- ① 地域には〇〇関連企業の集積がある
- ② 大学発ベンチャーランキング上位20大学
大学発ベンチャー大賞 大臣賞2社
- ③

Weaknesses(弱み)

- ① 優れた技術を持つベンチャーの成長支援が出来ていない。支援人材、ノウハウが不足...
- ②
- ③

Opportunities(機会)

- ① AI・IoTなど時代の最先端...
- ②
- ③

Threats(脅威)

- ① 国内〇〇産業の地盤沈下、企業城下町が機能しなくなりつつある
- ②
- ③

4. 現状の課題と今後の戦略 フォーマット自由

記入例2 箇条書き

課題：大学発ベンチャー1000社計画時に…、現在大学発ベンチャーは15社…
研究の延長線上13社、…安定収益は2社のみ

原因：創業させることに注力して、事業戦略・マーケティング戦略が不足…

戦略：事業戦略・マーケティング戦略立案ノウハウを指導できる体制づくり

課題：企業城下町…下請け体質で、新たなチャレンジが出来ていない。
このままでは域内産業が衰退の一途…

原因：新たなことに挑戦したいが方法がわかっていない…

戦略：挑戦意欲の高い次世代経営者を対象に…、学びの場、創造の場を提供し…
企画し、仕組みを構築する

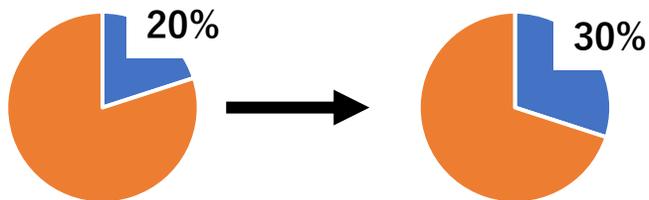
5. 支援を要請する理由

フォーマット自由

6. インキュベーション施設（拠点）事業計画（その1）〈数年後に実現したい姿・目標〉 フォーマット自由

※ソフト支援自立化のイメージは必ず盛り込むこと。

（自治体型 記入例）



新たな事業に挑戦する次世代経営者を20社育て、各社の**新規事業比率**を20%から30%に底上げする。

自立化のイメージ

事業・基盤技術の高度化を図るために大学や工業試験センター等との連携を強化する。

職員が企業に深く関与して、経営分析を行い、新技術開発・新市場開発のためにマッチングをコーディネートできるようにする。

中小機構とのネットワークを活用して、異業種との交流を促進する。

（大学連携型 記入例）

量

大学発ベンチャー創出ランキングで20位以内に入れるよう目指す。

質

自立可能な大学発ベンチャーを30社輩出する。うち5社は全国レベルで注目される企業。

自立化のイメージ

経営戦略・マーケティング戦略・販売戦略・資金調達・資本政策などを職員も実践できるようにする。

中小機構とのネットワークを活用できるように定期的に交流の場を待つ。

7. インキュベーション施設（拠点）事業計画（その2）〈ソフト支援力強化・自立化計画〉 フォーマット自由

